

出席停止となる感染症一覧表

- 一覧表にある感染症にかかったときは、法律で定められた「出席停止」となり、「欠席」にはなりません。
- 病院にかかり医師の診断を受け、家庭から連絡を受けた日から出席停止扱いとします。
- 感染症の診断を受けた場合は速やかに学校に連絡し、医師の許可があるまで家庭で安静にしましょう。



○第1種学校感染症

病名	出席停止期間
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、鳥インフルエンザ(H5N1)、重症急性呼吸器症候群(SARS)、 新型コロナウイルス感染症	治療するまで出席停止 ※新型コロナウイルス感染症において ・濃厚接触者である場合や、疑いのある場合も出席停止とする。 ・感染の予防のための休みも出席停止とする。

○第2種学校感染症

病名	症状	潜伏期間	出席停止期間
インフルエンザ	急な発熱、頭痛、悪寒、関節痛、全身倦怠感、咳、鼻水、のどの痛み	1~3日	発症後5日経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで
百日咳	コンコンという短く激しい咳が続く	1~2週間	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹(はしか)	発熱、咳、鼻水、目やに、結膜充血、頬の内側にコプリック班(白点)	10~12日	解熱後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺の腫れ(片側~両側の顎の後ろが大きく腫れて痛む)、発熱、嚥下困難	1~2週間	耳下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
風しん(3日はしか)	発熱、発疹、耳の後ろ・首・脇の下などの腫れ、咳、結膜の充血	2~3週間	発疹が消失するまで
水痘(みずぼうそう)	発疹→水疱→かさぶた・かゆみ	2~3週間	全ての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱	高熱、のどの痛み、結膜の充血、首のリンパ節の腫脹	5~7日	主要症状が消失した後、2日を経過するまで
結核	初期は自覚症状なし、X線で見え、発熱、咳、たん、疲労感、体重減少	1~2ヶ月	病状により感染のおそれがないと診断されるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	高熱、頭痛、嘔吐、頸部硬直	2~5日	

○第3種学校感染症

病名		出席停止期間		
コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス		病状により感染のおそれがないと診断されるまで		
病名	症状	潜伏期間	出席停止期間	
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)	激しい腹痛、下痢、嘔吐、吐き気	3~8日	病状により感染のおそれがないと診断されるまで 病院にかかった際に、いつから登校してよいか必ず確認してください。	
流行性角結膜炎	眼の異物感、目やに、結膜の充血	5~7日		
急性出血性結膜炎	眼の痛みや充血・出血	1~2日		
その他の感染症	溶連菌感染症	高熱、発疹、扁桃の発赤や腫れ、のどの痛み、いちご舌		2~5日
	ウイルス性肝炎	発熱、鼻水、咳、喘鳴、呼吸困難		2~5日
	手足口病	手足の水疱・発熱		2~7日
	伝染性紅斑(リンゴ病)	頬の赤み・手足の発赤		10~20日
	ヘルパンギーナ	発熱、のどの痛み		2~7日
マイコプラズマ感染症	発熱、咳、のどの痛み	2~3週間		
感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎・流行性嘔吐下痢症)	嘔吐、吐き気、下痢、発熱、腹痛	1~3日		
※アタマジラミ	頭髪部のかゆみ	出席停止の必要はありませんが、担任にはご連絡ください。医師の診断にしたがい治療をしてください。		
※伝染性軟属腫(水いぼ)	水疱			
※伝染性膿痂疹(とびひ)	皮膚に化膿性の湿疹			